

学校教育診断アンケートの結果について

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に実施いたしました学校教育診断アンケートにおいては、210名の保護者の方からの回答をいただきました。ご協力いただきましてありがとうございます。

アンケート集計結果については、「そう思う」「どちらかというと思う」を肯定的な評価とし、概ね80%以上を超えるものを「概ね良好」と捉え、80%未満のものについては、改善が必要なものとしてまとめました。結果は、全教職員で共有し、学校教育活動、学校運営において引き続きよりよい学校になるよう改善に努めてまいります。結果の詳細については本校ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

<児童におけるアンケート結果のまとめ（低学年）>

- 13項目中12項目で肯定的な評価が80%以上という結果でした。特に、「運動会や音楽会などの行事は楽しい」「学校に行くのは楽しい」「先生たちは、私たちの話を聞いてくれる」など、9項目で90%以上の児童が肯定的な回答をしていました。
- ▽「授業でわからないことについて、たずねやすい」の項目で肯定的な回答をした児童は87%でした。概ね良好な結果ではあったものの、他の項目に比べて肯定的な回答の割合は低くなっていました。
- ▽「クラスでは思っていることが言いやすい」の項目で肯定的な回答をした児童は78%、「よく外で遊んでいる」の項目で肯定的な回答をした児童は77%でした。

「クラスでは思っていることが言いやすい」の項目は、昨年度と比べ肯定的な回答をした児童の割合が減少しており、児童の人間関係づくりなどに課題が見られました。来年度は山五小との統合も控えているため、児童が自分の考えや思いを表現したり、互いの違いを受け止めることの大切さを考える機会を増やしたりするなど、人権教育や道徳教育の一層の充実を図り、仲間づくり・学習集団づくりを進めていきます。

外で遊んでいる児童の割合については、昨年度と引き続きの課題となっています。SUN ネット端末の利用や図書室での読書など、児童の休み時間の過ごし方は多様化していますが、児童の体力向上や仲間づくりにも大きく関わるため、低学年の頃から児童が「体を動かすことが楽しい」と思えるような学級・学年の取り組みを考えていきたいと思えます。

<児童におけるアンケート結果のまとめ（高学年）>

- 14項目中13項目で肯定的な評価が80%以上という結果でした。特に、「地震や火事の時、どうしたらよいかを教わっている」「命の大切さや社会のルールについて教わっている」「努力したことをみとめてもらっている」など、9項目で90%以上の児童が肯定的な回答をしていました。
- ▽「学校には相談しやすい先生がいる」の項目で肯定的な回答をした児童は81%でした。概ね良好な結果ではあったものの、他の項目に比べて肯定的な回答の割合は低くなっていました。
- ▽「よく外で遊んでいる」という項目では、低学年児童よりも肯定的な回答が低く49%でした。

命の大切さや他人を思いやること、自分を大切にすることに関する項目では肯定的な回答の割合が高かったことから、低学年のころからの人権教育や道徳教育の積み重ねが、児童の意識の変化につながっていると捉えています。

学校に相談しやすい先生がいると感じている児童の割合が減少しているため、児童一人ひとりの学校生活での不安や困り感に寄り添いながら関係を築いていきます。

外で遊んでいる児童の割合については、低学年と同様昨年度に引き続きの課題となりました。SUN ネット端末の利用や図書室での読書等、休み時間の過ごし方が多様に変化していることや、委員会活動や行事による学年の役割等が要因として挙げられると考えています。体を動かすことの大切さを考えさせるとともに、児童が「体を動かすことが楽しい」と思えるような学級・学年の取り組みを考えていきます。

<保護者におけるアンケート結果のまとめ>

- 16項目の学校運営・教育活動に関する質問のうち、肯定的な回答が80%以上の項目は13項目ありました。特に、「学校は地震や台風など非常時の対応について、児童や保護者に行動マニュアルが示されている」「学校は、一人ひとりの努力や能力に応じた評価を行っている」「学校は、学級・学年活動や行事を通して、クラスの仲間づくりができていく」「学校は、児童や地域の実態に沿った教育活動を行っている」「学校は、保護者や地域への教育活動の様子などの情報発信を行っている」「学校行事は、子どもたちに意義があるように工夫がされている」の項目では、肯定的な回答が90%を超えていました。
- ▽「学校は、児童の人権意識や人権感覚を高める指導を行っている」「学校は、問題行動防止のための指導や問題が起こったときの対応を適

切に行っている」「学校は、施設・設備などが点検されており、安全な学校環境が整っている」の項目では、昨年度に比べ肯定的な回答の割合が増えていたものの、どの項目も肯定的な回答が80%を下回る結果となりました。また同じ項目で「わからない」と回答した保護者の割合が20%近くありました。

児童が学習や行事に取り組む姿に関することについては、昨年度に引き続き、肯定的な意見が多く見られました。「つながろう学校」のスローガンを掲げ、学校としても、PTAの協力により、保護者の皆様に児童の成長をご覧いただく機会を作ることができ、大変うれしく思います。引き続き、学校行事や学習、生活等の教育活動全般について、ホームページや学校だより、学年・学級だより等でお伝えしてまいります。また、児童の適切な評価に関する項目では、肯定的な意見が昨年度よりも大幅に増えました。引き続き、多様性を見極めながら、児童一人ひとりに寄り添うことを大切に、個に応じた指導の充実を図って参ります。

一方、いじめや人権に関する項目は、年度ごとに少しずつ肯定的な意見が増えてきています。しかし、より一層の向上を目指し学校の取り組みや教育活動の様子を引き続き伝えて参ります。いじめ予防の取り組みとして、吹田市全体で取り組んでいる「GRE-ENプロジェクト」に則り、職員研修を学期ごとに実施し、年間3回のいじめ予防授業に取り組んでいます。毎年、継続することで授業内容を改善しながら進めています。授業内容などの情報を校長ブログ、学年・学級だよりにてお伝えしてまいります。

人権教育については、教育活動のあらゆる場面をその機会と捉えています。基本的人権（自由権、平等権、参政権、社会権等）や人種、ルーツ、LGBTQ等、その人がその人らしく生きるために必要な多様性についての学習や福祉教育、環境教育や国際社会理解教育、平和教育等に取り組んでいます。また、人権教育を一層充実したものになるよう、地域・保護者と連携し、「人権の花運動」や「パラリンピックキャラバン」、「いのちの授業」等の出前授業も実施しています。人権に対する考えを深める為、人権週間や平和週間には標語や絵画、作文などの人権学習を重点的に進めています。学校での取り組みの内容や成果をブログ、学年・学級だよりにてお伝えしてまいります。また、参観・懇談等に来校された際は、教室掲示や掲示板に児童の学習の成果を掲示しています。ぜひご覧ください。

いじめや問題行動については、「いつ・どこでも起こり得るもの」としてとらえ、本校のいじめ防止基本方針に基づき、担任・学年だけでなく、校長・教頭・首席・生活指導主担者等が情報を共有し、組織的に対応をしています。状況に応じて、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーや外部機関とも連携します。日常的に教職員と児童のコミュニケーションを密にするとともに、毎日の「こころとからだの連絡帳アプリ デイケン」や定期的実施する「生活アンケート」などを通して、児童の不安や困り感の把握に努めてまいります。いじめ事案が発生したときには、事案の大小に関わらず、複数体制で対応に当たり、保護者の方の理解をいただきながら、継続的に指導を行っていくなど、学校全体で対応してまいります。友達を傷つけてしまった場合はそれを認め反省し次にかすことで成長につなげ、友達に傷つけられた場合は、謝罪に対し不寛容にならず次にかすことで人権感覚を高め、共に成長する機会となるよう見守ってまいります。

<記述事項のまとめ>

より良い学校にするためのご意見をお書きいただくようお願いしたところ、下記の事項で回答がありました。

◇教育活動及び施設に関するご意見

今後も、すべての児童にとって安心安全な教育活動に努めて参ります。教育活動の公開についてはPTAのご協力が無くては成し得ません。今後もPTAにご協力いただきながら、公開に努めてまいります。公共の場としての学校の特性をご理解いただければ幸いです。

学校、PTA、地域、警察と連携し地域安全に努めて参ります。施設の改善や安全については継続して要望をしています。

クラス編成については、昨年度より吹田市教育委員会へ引き続き要望しています。吹田市教育委員会は吹田市立小・中学校教職員人事基本方針及び取扱要領に基づき、児童・生徒数の増減及び各校の実情を踏まえ適切な定数管理のもと計画的に行うとしています。

◇保健、食育に関するご意見

児童の安全や成長について、保健・食育については成長段階に合わせた指導を進めてまいります。また、環境改善にも努めてまいります。気になることがある場合は担任まで個別にご相談ください。

◇道徳、人権教育に関するご意見

道徳科については、平成30年度より「特別の教科道徳」の教科書として採択されている教材を使用し、年間35時間（内容項目は22項目）の授業を実施しています。授業参観などでご覧いただけるよう努めてまいります。道徳、人権教育については、あらゆる生活場面を成長の機会と捉え、多様性への理解を深められるよう、より一層の充実を図ってまいります。

◇情報・通信に関するご意見

SUN ネット端末を使用している情報教育は吹田市のデジタル・シティズンシップ教育に基づき実施しているところです。個別の相談があります場合は担任までご相談ください。

◇児童指導に関するご意見

学校は保護者とともに児童の成長に寄り添ってまいります。不安に思うことがある場合は、教職員にご連絡ください。保護者の皆様とお子様のご成長を支援してまいります。お気軽にご相談下さい。また、問題行動が生じた場合には、6年間を通した児童の成長の機会になるよう、人権に配慮しながら指導及び対処してまいります。

すべてのご意見を掲載できませんでしたが、その他のいただいたご意見につきましても、改めて学校として実施可能かどうか、必要性も含め検討いたします。また、ご意見とは別に感謝の言葉や労いの言葉も多数添えていただきました。教職員一同大変うれしく拝読させていただきました。中には名を挙げて激励いただきご意見もいただきました。教育活動の糧とし、子どもたちに還元してまいります。

アンケートにご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。今後も本校の状況を見据えながら教育活動に取り組んでまいります。